

## 共生する力 ～人権週間(12月4日～10日)に思う～

校長 続橋 正寿



「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」

2030年のあるべき姿として、横浜の教育はこのよう  
な人づくりを目指しています。

複雑で変化の激しい時代、答えが1つではない課題にも  
柔軟に向き合い、持続可能な社会の実現に向けて、自分た  
ちのできることを考え、他者と協働し解決していくことの

重要性に鑑み、子どもが主体的に考え学び続け、多様な人々や社会と関わり合うことを通し  
て、個性や能力を活かしながら、夢や目標に向かってチャレンジし、よりよい社会や新たな  
価値を創造できる人を育むことを目標としています。

9年後、今の中学生は、20代前半となり、社会の中で存在感を示し、生きていること  
でしょう。この理想ともいえる社会を創っていくのはまさしく、皆さんのお子さんたちで  
す。今後、グローバル化や価値観の多様化が一層進む中、年齢や性別、国籍や文化の違い、  
障害の有無等に関わらず、全ての人がお互いの人権や尊厳を大切にし、支え合い、誰もがい  
きいきとした人生を送ることができる共生社会の実現が求められています。そのため、自分  
の内面と向き合い、自他の違いを受け止めた上で、価値観や背景の異なる相手ともコミュニ  
ケーションを図りながら、共感的に理解したり、合意を形成したりして共に生きていく力が  
必要です。

日吉台中学校では、以前から教育目標として「共に生きる」を掲げ、「自分を見つめ、多  
様性を尊重し、共生する力」の育成に重点を置き、日々様々な教育活動に取り組んでいま  
す。頭では理解できていても行動で示すことは、とても難しいことでしょう。しかし、こ  
の理想を常に意識し、少しでも近づいていこうとすることが大切です。子どもたちが創る  
未来が、多くの人々にとって心穏やかに生活できる社会となるように、学校は、様々な取  
組をとおして支援、指導していきま  
す。この機会に、ご家庭でも話題に  
していただき、多様性を認め合う社  
会の作り手を担う一人であること、  
お口添えをいただければ幸いです。



1年

## 道徳の時間

「特別の教科 道徳」では、「考える」「自分の考えを伝える」「ほかの人の考えを聞く」ことを通して、一人ひとりが自分の心を見つめ、考えを広げ、深めていきます。今回の道徳では『席替え』というみなさんにとってはとても身近な教材でした。1回目の授業は、くじ引きでの席替えのルールを守らず、勝手に席を決めなおしてしまった人が多く、副委員長が席替えのやり直しを提案する話をもとに、各クラスで席替えは何のためにするのかなどの話し合いが行われました。



2回目の授業では、「くじ引きの後の場面をやってみよう」ということで班ごとに主人公、席を勝手に変えた人、仕方なく席を譲った人の立場になりきってロールプレイを行いました。3者の役をやることによって、自分のことだけでなくみんなのことを考えることが大事なのではないか、と気づいた人が多くいました。

考え方は人それぞれ違います。お互いの考えを知り、認めること、みんなのことを考えて行動できる緑学年にしていきたいと思います。

2年

## 「東京遠足」に向けて

世の中が少しずつ落ち着きを取り戻し、青学年も12月21日に「東京遠足」を実施する予定で、活動を始めました。この遠足は、例年2年生が平和学習をメインテーマとして、東京の文化や歴史等について学ぶため、実際に足を運び見聞を広めることを目標としています。実行委員会で話し合い、決定した遠足のスローガンは

「特急ブルーライン～令和に平和をつなげます～」です。生徒たちは「昭和館」か「第五福竜丸展示館」のどちらかを必ず見学し、その他数か所を班ごとに選んで訪ねることになります。校外学習ということもあり、どのクラスでも大変楽しそうな様子で、事前学習やコース作りに取り組んでいます。新型コロナウイルスの関係で制限も多くありますが、学びの場を広げる機会をもてることに感謝して、生徒たちならではの豊かな感性で受け止め、平和を次世代につなげる役目を果たせるように学びを深めてきたいと思います。



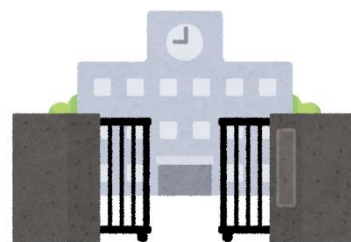
3年

## 入試突入！落ち着いて！！ ～頑張っているみんなへ～

先日、3年生は怒涛の4日間連続のテストが行われました。テスト返却では悲喜こもごもの様子が見られました。12月1日に進路に関する『学習成績票』が配布され、12月3日より保護者面談において志望校確定（特に私立高校）をしていきます。保護者や塾の先生からのアドバイスも大切ですが、自分が通う学校なんだという自覚をもち高校見学や説明会参加などを通してじっくりと考えて、最終的に“自分”が決めてください。

既に面接シートの記入などを始めていますが、これからは学習だけでなく、同時に入試の手続きについても調べていくことが必要になってきます。公立高校は配布した『募集案内』や『志願のてびき』、私立高校は各高校の『募集案内』や『ホームページ』を確認しておきましょう。特に私立高校に関しては、年内に担任に記入を依頼する書類がある学校や出願方法がネットに変化している学校も多くなってきています。保護者に任せるとはせず“自分”が把握しておくことが大切です。

入試に向けて進んでいくと壁にぶつかり悩むことも多くなると思います。その時は、ゆっくりと深呼吸をして、受験に向かっているのは自分一人ではないことを思い出してください。落ち着いて一歩ずつ着実に進んでいきましょう。



第71回 港北区「社会を明るくする運動」標語コンクール

【優秀作品】 当たり前 過ごせる毎日 大切に (3年 菱島千夏 さん)

笑顔の輪 繋ぐ架け橋 「ありがとう」 (1年 石倉さわ さん)